



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 足立 隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 奥田朋近

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	59,744	5.9	1,701	51.7	1,701	58.1	1,122	46.6
30年3月期第2四半期	56,401	3.4	1,121	72.9	1,076		765	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 373百万円 ( %) 30年3月期第2四半期 1,009百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	53.96	
30年3月期第2四半期	37.22	36.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	84,669	50,046	58.8	2,392.41
30年3月期	86,107	50,817	58.6	2,427.55

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 49,747百万円 30年3月期 50,478百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		15.00		16.00	31.00
31年3月期		16.00			
31年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	0.6	4,200	28.0	3,900	14.7	2,700	6.2	129.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	21,341,152 株	30年3月期	21,341,152 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	547,341 株	30年3月期	547,285 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	20,793,858 株	30年3月期2Q	20,567,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の拡大や個人消費の持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米中貿易摩擦の影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

自動車業界におきまして、国内では新車販売台数が前年同期比で減少傾向に推移し、北米及び中国では堅調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は59,744百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は1,701百万円（前年同期比51.7%増）、経常利益は1,701百万円（前年同期比58.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,122百万円（前年同期比46.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、中国、タイなどで増産となり、売上高は57,902百万円（前年同期比5.7%増）となり、営業利益は1,746百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

#### (b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連の受注が増加したことにより、売上高は1,333百万円（前年同期比20.3%増）、営業損失は31百万円（前年同期は159百万円の損失）となりました。

#### (c) 福祉機器関連事業

電動車いすの販売が減少したことなどにより、売上高は508百万円（前年同期比4.2%減）、営業損失は19百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当第2四半期末における総資産は、84,669百万円（前期末比1,437百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（1,092百万円）などにより、54,261百万円（前期末比869百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の減少（401百万円）などにより、30,408百万円（前期末比567百万円の減少）となりました。

##### (ロ) 負債

当第2四半期末における負債は、34,623百万円（前期末比666百万円の減少）となりました。流動負債は、電子記録債務の減少（272百万円）などにより28,168百万円（前期末比507百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（702百万円）などにより6,454百万円（前期末比158百万円の減少）となりました。

##### (ハ) 純資産

当第2四半期末における純資産は、為替換算調整勘定の減少（1,382百万円）などにより50,046百万円（前期末比771百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、4,066百万円（前年同期比1.1%増）、投資活動に使用した資金は、1,372百万円（前年同期比24.3%減）、財務活動の結果減少した資金は、1,898百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は11,779百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,066百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が1,694百万円、減価償却費が2,289百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,372百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,414百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,898百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が1,197百万円、リース債務の返済による支出が590百万円であったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高、営業利益は概ね予定通りとなりましたが、経常利益は為替影響により増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の増加要因に加え、税金費用の減少により予想を上回る結果となりました。

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,884	13,620
受取手形及び売掛金	20,971	19,879
電子記録債権	6,606	6,401
たな卸資産	11,659	11,704
その他	3,506	3,137
貸倒引当金	△497	△482
流動資産合計	55,130	54,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,037	7,795
機械装置及び運搬具(純額)	6,888	6,578
その他(純額)	9,360	9,510
有形固定資産合計	24,286	23,884
無形固定資産		
その他	686	599
無形固定資産合計	686	599
投資その他の資産		
投資有価証券	5,580	5,414
その他	500	561
貸倒引当金	△77	△51
投資その他の資産合計	6,003	5,924
固定資産合計	30,976	30,408
資産合計	86,107	84,669
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,149	11,295
電子記録債務	6,445	6,172
短期借入金	2,788	2,521
未払法人税等	393	323
賞与引当金	1,212	1,236
製品保証引当金	202	262
その他	6,484	6,356
流動負債合計	28,676	28,168
固定負債		
長期借入金	3,102	2,400
退職給付に係る負債	2,157	2,123
その他	1,352	1,931
固定負債合計	6,613	6,454
負債合計	35,289	34,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,297	6,297
資本剰余金	6,049	6,049
利益剰余金	33,669	34,458
自己株式	△441	△441
株主資本合計	45,574	46,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,372	2,236
為替換算調整勘定	2,542	1,159
退職給付に係る調整累計額	△11	△12
その他の包括利益累計額合計	4,903	3,383
非支配株主持分	339	299
純資産合計	50,817	50,046
負債純資産合計	86,107	84,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	56,401	59,744
売上原価	50,557	53,360
売上総利益	5,844	6,383
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,371	1,535
給料手当及び賞与	1,129	1,118
賞与引当金繰入額	179	184
退職給付費用	40	43
減価償却費	194	139
その他	1,807	1,661
販売費及び一般管理費合計	4,723	4,682
営業利益	1,121	1,701
営業外収益		
受取利息	64	72
受取配当金	68	76
その他	89	165
営業外収益合計	222	314
営業外費用		
支払利息	189	190
為替差損	29	80
その他	47	43
営業外費用合計	267	314
経常利益	1,076	1,701
特別利益		
固定資産売却益	45	0
特別利益合計	45	0
特別損失		
固定資産処分損	6	7
特別損失合計	6	7
税金等調整前四半期純利益	1,115	1,694
法人税、住民税及び事業税	293	574
法人税等調整額	13	△43
法人税等合計	306	530
四半期純利益	808	1,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	765	1,122



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	808	1,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222	△136
為替換算調整勘定	△31	△1,400
退職給付に係る調整額	10	△0
その他の包括利益合計	201	△1,537
四半期包括利益	1,009	△373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	960	△398
非支配株主に係る四半期包括利益	48	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,115	1,694
減価償却費	2,506	2,289
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	24
受取利息及び受取配当金	△133	△149
支払利息	189	190
固定資産処分損益(△は益)	△39	7
売上債権の増減額(△は増加)	△900	776
たな卸資産の増減額(△は増加)	△250	△281
仕入債務の増減額(△は減少)	2,030	285
その他	19	△123
小計	4,548	4,714
利息及び配当金の受取額	139	142
利息の支払額	△189	△192
法人税等の支払額	△477	△598
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,020	4,066
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△845	41
有形固定資産の取得による支出	△856	△1,414
投資有価証券の取得による支出	△29	△32
その他	△82	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,814	△1,372
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△272	286
長期借入れによる収入	674	—
長期借入金の返済による支出	△1,271	△1,197
社債の償還による支出	△2	—
リース債務の返済による支出	△554	△590
配当金の支払額	△327	△332
その他	△50	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,805	△1,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136	72
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	265	866
現金及び現金同等物の期首残高	9,683	10,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,948	11,779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	54,763	1,108	530	56,401	—	56,401
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	8	1	10	△10	—
計	54,763	1,116	531	56,412	△10	56,401
セグメント利益又は損失(△)	1,277	△159	△3	1,114	6	1,121

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	57,902	1,333	508	59,744	—	59,744
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	43	0	45	△45	—
計	57,903	1,376	509	59,789	△45	59,744
セグメント利益又は損失(△)	1,746	△31	△19	1,695	6	1,701

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。